

1 調査日 平成 30 年 8 月 31 日（金）

2 調査の概要

（１）県立琵琶湖漕艇場（大津市）

本県では、平成 33 年のワールドマスターズゲームス 2021 関西および平成 36 年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を視野に、スポーツを「支える」活動を推進している。特に、スポーツボランティアについては、平成 32 年度までにスポーツボランティア登録数を 2,000 人まで拡大することを目標に、スポーツボランティアの活躍機会の増加のための仕組みづくりを進めているところである。

このことから、県による「支えるスポーツ」に関する取り組みの状況について調査を行うとともに、スポーツボランティア経験者、企業スポーツ関係者、学識経験者およびスポーツ振興団体など、スポーツ支援に関する活動を行う県民の方々との県民参画委員会を実施し、スポーツ支援の現状や今後に向けてのアイデア等について意見交換を行った。

また、県立琵琶湖漕艇場においては、平成 31 年度に改修が予定されていることから、改修計画を確認し、施設の現状について視察を行った。



（２）東レアリーナ（大津市）

本県では、平成 36 年に開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた競技力向上や機運の醸成、また、スポーツを通じた健康づくりや地域活性化を図るため、企業スポーツの振興に取り組んでいる。

こうした中、東レ株式会社滋賀事業場においては、Vリーグに所属する東レアローズ女子バレーボール部が活動を行っており、その活動の拠点として、アリーナ、トレーニングルーム、ミーティング室などの施設を備えた「東レアリーナ」が整備されているところである。

このことから、東レ株式会社滋賀事業場における企業スポーツの活動実績や取り組みの現状について調査を行うとともに、東レアリーナの施設について視察を行った。

